

単元名 場面に合わせて書き方のくふう

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 場面に合った書き方を理解することができる。
(2) 場面に応じた書き方の工夫の仕方を考えることができる。

標準的な展開例

05020101_001

【教材名】 場面に合わせて書き方のくふう (P. 1～P. 3)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 場面に合った書き方の工夫の仕方を考える。</p> <p>★場面によって、どのような書き方をすればよいかを考えよう</p> <p>○場面に合わせたよりよい書き方の工夫について、話し合う。</p> <p>○まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 1～P. 2を参考にして、様々な場면을提示し、それぞれに応じてどのような書き方をすればより相手に伝わりやすいかを考えさせる。 ・隣席やグループの児童と考えを交流させる。 ・なぜそのように書くとよいか、根拠を明確にして発言させたい。 【評】話し合いを通して、場面に合わせた書き方の工夫についての「思考・判断・表現」を評価する。 ・それぞれの場面に応じた書き方のよさについて、確認させる。 【評】まとめの活動を通して、場面に合った書き方の工夫や、そのよさについての「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】